

コミスクだより

第3号 2026年2月27日



第3回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）報告

1. 開催日時 令和8年（2026年）2月13日 15:30～16:45
2. 開催場所 西宮市立鳴尾北小学校 小会議室（司会：教頭 記録：CS推進員）
3. 内容

(1)委員長挨拶

新しい年を迎え、オリンピックが開催されている。スポーツを通して学ぶことは多く、見ていて感動している。鳴尾北小学校のスポーツも頑張ってもらいたい。

(2)校長挨拶

今年度も終わりに近づいている。安定して教育活動を行うことができるのは、保護者・地域の皆様のおかげである。学校評価についてアドバイスをいただけたらと思う。

(3)学校評価・保護者アンケートについて（教頭・校長）*学校評価の結果は後日家庭数で配布予定

・8割9割肯定的である。その中で、5番（規則正しい生活週間について）と6番（体力の向上）について「あまり当てはまらない」が11%となっている。保護者の願いと受け止め、学校も協力して家庭に啓発できると良いと思っている

・記述アンケートについて ①設備面・ICT②指導支援③学校生活④保健⑤学校行事・教育内容⑥感謝の言葉

①について

子供たちの遊ぶ環境については、新年度、プレハブ工事終了後に考えていきたい。ICTについては、効率良くペーパーレスを進めていく。東門については、開けて欲しい、閉めて欲しい、と2つ意見が出ている。現時点では一日のうち警備員の居ない時間帯があるため、児童登校後に東門を開けることは難しい。西門（正門）からの出入りをお願いしたい。

②について

子供同士のトラブルについて、学校としては「もしも気になることがあったら先生に言ってね」と子供たちに伝えている。子供たちには、必ず自分で「注意しなければならない」という負担にならないようにと考えている。将来、理不尽な事に出会ったとき、おかしいと気づき、伝えられる大人になって欲しい（「おかしいと思ったことを伝える」ということは文部科学省からの通知文書でも取り上げられている）。「これは違うぞ」ということを伝えられる土壌作りが大切。子供たちが失敗から学んで行動変容していくということが大事。表面上気になる行動があっても、話を聞いてみるとちゃんと考えていて、そうではなかったということもある。子供の行動をいろいろな方向から見ていきたい。

③について

児童会と同じ活動を行う代表委員会がある。代表委員会は兵庫っこ記録大会（大縄大会）の司会等を行っている。また、今年もボランティアを募って活動をしている。校内の掲示や石拾い、田んぼ活動（前校長が携わっている）等をしている。ボランティア活動をすると参加スタンプがもらえ、子供たちのモチベーションのアップにもつながっている。

④について

運動場を奇数偶数学年で分けて使用するよう変更したことで、衝突の怪我が減ってきている。子供たちは運動

場が広く使え「のびのびと遊べる」と言っている。今年度、学級閉鎖の連絡は見直しをした。

⑤について

学校行事については管理職と部会で検討している。教育内容についても、いただいた意見をもとに検討して行く。運動会については全市的に午前開催の学校が多い。体育部と相談して内容を考えていきたい。行事は子供たちが学んだ成果の発表と考えている。

⑥について

温かい言葉をいただくことは何よりも励みになる。大変ありがたい。うまくいかないことは改善していきたい。

(委員からの意見)

- ・地域の公園で子供が自転車のかごに荷物を入れたままにしていたら、無くなったということがあった。子供は地域の方に「無くなった」という事実のみ伝えに来た。子供たちは「誰かが何かしてくれる」というような姿勢になっていないか。自主的な人間になることが大事。学校でも家庭でも子供たちの自立に向けて教育することが大事である。
- ・朝の見守り活動の時、保護者の方にも少し声をかけている。見守り活動によって子供からのあいさつの声が増えてきていると思う。
- ・子供の見守りによって、保護者とのつながりもできた。地域の方の見守り活動の輪が広がるとありがたい。
- ・スケートボードについて公園での使い方が気になる。ルールが必要ではないか。

(4)学校・家庭・地域での課題、情報共有

- ・低学年に対して、地域の力の影響は大きくありがたい。校区探検やお店探検で地域の方に大変よくしてもらった。校外の学習では校内の学習ボランティアの力も借りている。低学年で地域のつながりを作り、高学年につなげて行きたい。
- ・6年生は卒業まであとわずかである。卒業プロジェクトにそれぞれが参加し、地域の公園を綺麗にする等の活動をしている。中学校見学では授業やクラブを見学させてもらった。子供たちは、中学校はもっと厳しいところだと思っていたようだが、見学後印象が変わったようだ。
- ・市内の状況とは1週間遅れでインフルエンザが流行り、登校後すぐに体調不良を訴える児童も多く、ベッドがフル回転している。治った後も咳が長引く子が多い。登校時の怪我も多く、地域の方の見守りはありがたい。地域の方が担任に伝えてくださり、子供たちは無事に保健室に来る。こけた時に顔に怪我をする子が多い。

(5)令和8年度の主な行事について*詳細については後日学校HPやおたより等で公開

来年度は図工展がある。運動会は10月17日(土)で調整中。*自然学校の日程との関係

(6)推進員より

サポーターに登録していただくと、保険に加入となる。怪我をした場合は書類を提出し、対応してもらおうというシステムになっている。校内の学習ボランティアに学年行事や学習活動のサポートをしてもらっているが、少しずつ地域の方にも学習ボランティアをお願いしたいと思っている。学校からは1年生の昔遊びの時に協力してもらいたいという依頼がある(10年程前に老人会を中心に行っていた)。

(7)令和8年度に向けての方向性(校長)

第4期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」の基本理念は「兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり」となっており、鳴尾北小学校が目指しているところと重なっている。人は1人では生きていけず、人と関わって生きていく。子どもたちの心を日々の小さな積み重ねを大切にしながら育てていきたい。「わたしも大切 あなたも大切」ということは自分を大切にできると周りの友だちへもやさしくできるということである。自分の良さに気づくことは自信につながり、他人の良さに気づくことへつながっていく。自主的な考えを持つという話が出たが、子どもたちが考え、知っていることをどう生かしていくか、ということ

を育てていくのが教育である。来年度もこのような考えを持ちながら取り組んで行きたい。

来年度、さらに地域と学校のつながりが広まっていくと嬉しいです。 推進員 松本咲子

